

歯牙形態には形態を構成する定義がある。

補綴物製作における、天然歯形態の再現は、その定義を知ることが大切である。

天然歯形態は、大まかに尖形、方形、円形の基本三形態に区分することができる。

天然歯形態を形成する、近遠心の隅角表徴、歯頸腺の形状、隣接面観における唇側面の形状、切縁観における唇側面観の形状にて、天然歯形態の定義を知ることができる。

これらの、部分における観察から、基本三形態に於いて、それぞれの形態に属する、形態の類似性を見ることができる。

臼歯においても、咬合面形態にそれぞれの部位において、形態の類異性を見ることができる。

上顎中切歯における、基本三形態の類似性と上下臼歯部における、形態の類似性を解説する。